

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	文化女子大学・文化女子大学短期大学部	整理番号	3-4-001
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	文化祭は“Collaboration & Creation”の場 －特色ある教育内容を活かし活力ある大学を創る実践的取組－		
申請単位	共同		
申請担当者	澤田 知子（文化女子大学）		
<p>(取組の概要)</p> <p>文化女子大学及び同短期大学部の「文化祭」は、短大創設の翌年に第 1 回を行い、大学創設により合同開催として、本年で第 53 回を迎える「学生・教職員全員参加で取組む公的行事」であり、主題である「文化祭は“Collaboration & Creation”の場」は、取組理念を表す。行事の目的は「特色ある専門教育の内容を社会に公表しその評価を問う」ことに特徴があり、行事企画も「学生会活動（プログラム作成・催し物企画・クラブ活動など）」と「教育内容の公表（教科展示・バザー・ファッションショー・大学グリル・玄関モニュメントなど）」からなる。その結果、①学生にとっての学習成果の改善支援や人間的成長支援、②教員にとっての教育課程・教育方法の改善支援、③大学と地域・社会・世界との連携支援など、複合的効果がある点も特筆される。本年は「文化学園創立 80 周年記念文化祭プログラム」を計画しており、これによって活力に溢れた大学教育へのさらなる発展を期するものである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、文化女子大学の教育目標である「社会の動向やニーズに適応した理論的・審美的な能力を具備した人材育成」を実現するため、53年にわたって実施されているものです。学生教職員が協同して学びあい創りあげるといふ特色ある教育支援プログラムであり、研究教育活動を公表する場としての大学祭本来の役割が自覚され、組織的な取組となっており、その継続的な努力が学生の学習上の利益となり、教育目標に対して優れた実績を上げており、他の大学に対し十分参考になる事例と認められました。</p>			